

一茶ゆかりの里通信

No. 39



平成28年12月15日発行

長野県上高井郡高山村大字高井 5161-1

歴史公園信州高山 一茶ゆかりの里 一茶館

TEL(026)248-1389 FAX(026)248-8913

http://kobayashi-issa.jp

印刷所 (株)オフセット 長野県須坂市墨坂南 1-17-3
(026) 245-6338



■ 武家茶道 in 信州高山 ■

5月15日(日)、一茶館開館20周年と村制施行六十周年を記念した茶会を開催しました。高山村出身の磯野宗明氏が代表を務める石州流伊佐派の皆さんに野点を披露していただきました。



石州流伊佐派は、徳川5代将軍綱吉から15代将軍慶喜まで茶道の指南役として江戸幕府に仕え、武士のたしなみとして大事にされてきた武家茶道を現代に継承しています。

お茶会は、一茶が逗留した離れ家の前庭にて、徳川家の家紋が入った陣幕を張り、震災の被災地である栄村産のトチノキで作られた茶道机「栄草」を使い、社中の男性がはかま姿でお点前を披露しました。

茶碗は、栄村の土で焼かれた高台が高い「馬上杯」を使用し、武士が戦場で馬にまたがり無事と勝利を祈って飲んだとされる「出立の茶」を参加者の皆さんに感じていただきました。また、お茶運びには、高山村の中学生2人にもはかま姿で手伝っていただきました。

■ 一茶秋麗茶会 ■

10月2日(日)に一茶秋麗茶会を開催しました。今回のお茶会は裏千家小布施宗節社中による離れ家の茶室と野点の薄茶席の2席と点心席を設けました。9月後半から悪天候が続いていた中、茶会当日はまさに「秋麗」といった快晴となりました。お茶席のお菓子は栗を使い、栗の形をした特製の上生菓子「栗ひろい」と上用粉と山芋で皮をつくったこしあんの一茶饅頭をご用意しました。また、点心席では、松茸御飯や銀杏等、高山村の秋の味覚を集めた点心を召し上がっていただきました。

参加者の皆さんからは、「とても良いお茶席だった。」「また、お茶会にきたい。」といった感想を多くいただきました。



■ 一茶館新そば祭り ■



11月6日(日)、一茶館で初めてとなる新そば祭りを開催しました。

高山村で収穫された風味豊かな地粉を使った手打ちそばが「信州高山そばの会」の皆さんにより振舞われました。

「信州高山そばの会」は今年9月に、村内の蕎麦の栽培者と村内外の蕎麦打ち愛好者で結成した会で、会としては、新そば祭りが初の活動となりました。

蕎麦の俳句も多く詠んだ小林一茶、その一茶が逗留した村の文化財に指定されている茅葺き屋根の離れ家にて、来館者の皆さんに打ちたての新そばを召し上がっていただきました。

来年の秋も一茶館新そば祭りを開催する予定です。

■ 一茶句碑が建立されました ■

村制施行六十周年及び、一茶館開館20周年にちなみ、高山村中原区の皆さんにより、一茶の句碑が建立されました。村内にある一茶句碑としては14基目となります。

小林一茶の『文化句帖』に書かれている「ふらんどや桜の花をもちながら」の句が刻まれました。

「ふらんど」とはブランコのことで、漢語では鞦韆と言います。『文化句帖』には前書きに「鞦韆戯」とあり、これは、昔中国で冬至から105日後の寒食の日に宮廷の女たちがブランコを楽しんだという故事を意識したものと考えられます。

句碑が建立された中原団地公園には桜の木とブランコがあり、桜の季節に子どもたちがブランコで楽しそうに遊んでいる風景に似合うこの句が刻まれました。



第二〇回 一茶ゆかりの里俳句大会

主催 高山村・高山村教育委員会・高山俳壇
 期日 平成28年10月16日(日)
 選者 長野県俳人協会 会長 海野良三
 副会長 窪田英治、金子靚石、近藤修雨
 応募人数 133名
 応募句数 509句

一茶ゆかりの里大賞	どの道来ても林檎の匂ふ村	須坂市	一色 正次
長野県教育委員会賞	北窓を開けて故山を引き寄せる	栃木県	手塚 康雄
高山村教育委員会賞	節くれの手の平に視る今年米	飯山市	伊東 宣和
長野県俳人協会賞	山ひとつ越えてふるさと柿の村	飯田市	熊谷 美聴
信濃毎日新聞社賞	観覧車秋を大きく廻しけり	松本市	福田喜美子
須坂新聞社賞	とつぷりと暮れて代田の水匂ふ	小布施町	栗原ヒサエ
高山村文化協会賞	おにぎりを雀にも分け一茶の忌	愛知県	加藤 久子
信州高山温泉郷観光協会賞	凍滝に蒼き光陰ありにけり	長野市	木原 登
高山村公民館賞	激動の昭和に生きて日向ぼこ	埼玉県	長岡 司泉
高山俳壇賞	聞き役に徹してをりぬ日向ぼこ	三重県	大堀 祐吉
高山俳壇賞	子らの居て笑声ある魂送	静岡県	柿崎 忠彦
高山俳壇賞	今日少女花野に星を拾ふなり	千曲市	市川まち子
高山俳壇賞	村に入る橋に大きないぼむしり	新潟県	井澤 秀峰
高山俳壇賞	ため息を吐かせて畳む盆提灯	長野市	小林まこと
高山俳壇賞	牛蛙子に小豆婆語り継ぐ	東京都	佐藤 恵子
高山俳壇賞	ふる里の山が起点の秋の虹	兵庫県	江藤隆刀庵
高山俳壇賞	秋の蝶空行く雲となりけり	小布施町	渡辺 澄子

俳句大会講演会「地名と俳句」

講師 俳句作家 窪田 英治 先生

長野県俳人協会副会長の窪田英治先生に「地名と俳句」と題して、俳句の中にある地名の重要性について講演していただきました。芭蕉や一茶の句の地名やそれぞれの地名が持つイメージ等についてお話ししていただきました。



夏休み俳句教室 8月5・6・7日

講師 東福寺碧水 先生

こんな俳句をつくりました！

ひまわりはみんなの笑顔さがすんだ
山岸 瑛美

雨がふりあとにはにじのたからもの
太田 花

草とりを必死にやっておこづかい
北澤 美優

夏は海はやく行きたい家族とね
渋谷健太郎

公園でポケモンつかまえ日焼けかな
小林よういち

第二〇回 一茶ゆかりの里俳句大会 席題 特選句

囁目特選

十月の空傾かす一茶館
丸窓に一茶の影や木の実落つ
柘榴笑む大きき日だまり一茶館
秋晴を連れて句友の来たりけり
魔校の針なき時計秋の風
穏やかな声の近づく実むらさき

神田 北童 先生選
諏訪市 金子 靚石
坂城町 大井さち子
高山村 高野 悠子
田辺 海樹 先生選
高山村 勝山 栄泉
群馬県 吉沢 邦夫
長野市 水上 孤城

秋の空特選

藁屋根に雀したしき秋の空
秋天へ洗濯の竿高く掲げ
白き雲去りまた満ちて秋の空
何事もなかったやうに秋の空
秋の空人遊ばせて文字遊ぶ
秋の空心の旅はさ迷へり

一色 正次 先生選
坂城町 大井さち子
高山村 藤沢つよし
長野市 水上 孤城
片桐 嶂泉 先生選
松本市 福田喜美子
木島平村 瀧澤 桂子
静岡県 柿崎 宏子

第19回 一茶ゆかりの里 小中学生俳句大会特選句

応募総数 1747 句
 小学校 (16 校) 974 句
 中学校 (7 校) 773 句
 審査員 上高井教育会俳文学同好会会員
 高山小・中学校国語科主任 他
 (敬称略・順不同)

小学校一年生

かぞくでねおおきすいかまつかつか 高山小学校 室伏 柰人

小学校二年生

つばめのす赤ちゃんたちがかおを出す 高山小学校 原 瑠七

風りんがゆらゆらゆらとおどつてる 南条小学校 富山紗也夏

かたつむりゆつくり歩くなまけもの 豊洲小学校 藤沢 陽斗

小学校三年生

サイダーが体の中ではじけてる 高山小学校 市河 俊哉

風りんがうつとりしているおじいちゃん 高山小学校 齋藤 大旗

そうめんといっしょに竹をながりたい 高山小学校 中村 心寧

すいかわりガツンと一ぱつ大当たり 豊洲小学校 植木 信吉

小学校四年生

タンポポのわた毛が飛んだ空高く 高山小学校 戸谷 瑠璃

風ふいて風りんの音チリリリン 高山小学校 山壽 鴻太

気がつけばやねまでとどくへちまかな 鬼無里小学校 宮下幸之助

まほうだよ長いつらは冬のつえ 高丘小学校 宮島 愛佳

せん風機おしゃべりすると変な声 真島小学校 込山 蓮

どっちなのみんな教えてすいかわり 栗ガ丘小学校 石田 雄也

小学校五年生

夏風のすずし根子岳登りきる 森上小学校 中島 悠輔

木もれ日が優しく包む夏の森 高山小学校 兼平尊乃介

牧場で空見上げれば星が降る 高山小学校 涌井 悠愛

ふうりんの音といっしょに一休み 豊洲小学校 初山 さら

春の土あたらしい命うまれるよ 南条小学校 毛呂 叶実

小学校六年生

そよぐ風虫の音聞いて夕涼み 高山小学校 齊藤 和奏

山々の緑がまぶしい立夏かな 高山小学校 石田 優姫

夏の海空の鏡になっている 高山小学校 池田 壮真

中学校一年生

紫陽花がそば濡れながら咲き誇る 高山中学校 須加尾彩葉

中学校二年生

かき氷キラキラ輝く夏の味 高山中学校 呉羽 大樹

中学校三年生

向日葵がまっすぐ育ち遠く見る 相森中学校 市川 叶恵

しゃぼん玉背より屋根より高く飛べ 相森中学校 田中 遥香

すいか割り歓声上がる浜辺かな 墨坂中学校 清水 来桜

大空に手をあげて咲く秋桜 高山中学校 返町歩乃佳

仁和寺の宸殿抜ける風涼し 北部中学校 荒井 唯芽

夏近し光を増した金閣寺 北部中学校 羽田 夏実

甲子園テレビの前で父正座 長吉六反中学校 和田 陽花

衣替え大好きな服また来年 長吉六反中学校 長尾 大輔

西瓜食べ受験勉強始めなきや 墨坂中学校 村石 昂亮

炎天下燃える騎馬戦全力で 小川中学校 松本 裕貴

かけ声が遠く聞こえる夏の空 小川中学校 山崎 麻未

扇風機首振り止めて独り占め 相森中学校 小林 京平

帰り道夕焼け空に手を伸ばす 相森中学校 西澤 咲

銀湾や会えると願いて足急ぐ 高山中学校 涌井 宏侖

平成二十八年年度

一茶ゆかりの里四季の俳句会

(四)六月分

選者 志やくなげ 荒井智雄 先生

特選天 風薫る目標過ぎし万歩計 群馬県 竹淵千恵子

特選地 句座開く寺の濡れ縁若葉冷 愛知県 平野 辰美

特選人 病癒え明日は退院花は葉に 群馬県 竹淵てる子

入選 筈を持ちて傘寿の叔父来たる 群馬県 富沢 節子

男氣をここで見せし初鯉 群馬県 滝沢 照香

母の日に二の膳届き祝ふ宵 群馬県 土屋はじめ

あすは雨つばめが一閃弧を描く 群馬県 山口 岩美

百歳の散歩背押す初夏の風 群馬県 田村 洋子

節々の痛みも治す若葉風 群馬県 加藤 幹生

阿弥陀仏千年の黙花の寺 群馬県 篠原 庄治

(七)九月份

選者 高山俳壇 勝山久峰 先生

特選天 瘦せ腕を走る血管夏衣 群馬県 篠原 庄治

特選地 彩りに箸の進みし夏料理 群馬県 仙田美名代

特選人 夫の忌や山より大きい夏の雲 群馬県 土屋はじめ

入選 天神の絵馬からからと涼新た 小布施町 池田 紫艶

畑一面力ボチャのつるに足捕らる 群馬県 滝沢 照香

父の日に孫の写真の贈り物 群馬県 竹淵千恵子

尺取の尺取っている風の窓 群馬県 田村 洋子

青春と言ふ名の切符夏の旅 群馬県 角田美重子

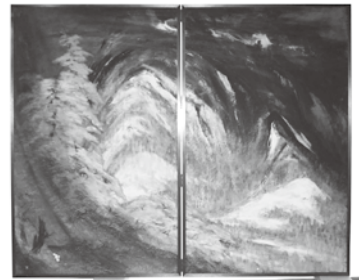
水張りの田を波立たす青嵐 群馬県 富沢 節子

母そこに在りしと思ふ昼寝覚め 愛知県 平野 辰美

渡辺文平画 屏風をご寄贈いただきました

千曲市出身の日本画家、渡辺文平（1925—1998）の屏風仕立の日本画が村に寄贈されました。寄贈者は天神原の片桐すみよさんで、亡くなったご主人の和助さんが渡辺文平氏の支援者として渡辺氏の絵画や掛け軸を多数収集されていましたが、その中で最大の作品を寄贈して頂いたものです。

寄贈された屏風は、現在、大勢の方にご覧頂けるように、一茶館の2階に展示しています。



吟行句会

6月18日

今回は、小林一茶のほか与謝野晶子や種田山頭火など多くの文人墨客が訪れた山田温泉周辺をマイクロバスで巡り吟行しました。

溪谷を茶庭に見立てた舞の道を通り、句碑が立ち並ぶ山の音遊歩道を歩き、森鷗外や与謝野晶子が訪れた鳳山亭で風景を楽しみました。

特選句

溪音に吹かるる白き梅雨の蝶 須坂市 一色 正次
涼風や百年前の句座の跡 長野市 常盤しがこ

一茶館で募集しています

一茶の句俳画コンクール

小林一茶の俳句と絵を色紙に書いた俳画作品を募集
応募締め切りは2017年1月15日(日)

一茶ゆかりの里フェスタ

合唱・楽器演奏・ダンス等の出演者募集
第12回目2017年2月5日(日)開催
第13回目2017年7月開催予定

映画「一茶」の製作進む

藤沢周平原作、吉村芳行監督、リリー・フランキー主演の「映画 一茶」の製作が進行中です。主な撮影場所は、福島県大内宿、信濃町、飯山市ですが高山村の子安温泉でも撮影されました。製作一茶製作委員会、配給 KADOKAWA で来年六月公開と伝えられています。

一茶館では映画の製作に合わせて記念の手拭いを作りました。映画の題字である俳人の金子兜太氏が揮毫した「一茶」の字を中央に、左右には、いろは順に一茶の俳句48句を印刷しました。黄緑色とオレンジ色の2種類があり、一茶館にて1枚600円で販売しています。

